



んごとさくらコンサート『Jablůcko a Sakura』のシリーズはチェコの北モラヴィア地方のコプシヴニツェ (Koprivnice) 周辺で2005年に始まったプロジェクトです。チェコ語のモラヴィアの方言「Jablůcko (りんご)」と日本の「桜」は、日本とチェコの友好を表しています。第1回は2005年9月、ヴォーカル・アンサンブルとピアノの出会い。コプシヴニツェの合唱団「ファツィエス・ムジカエ」Facies Musicaeとのアンサンブルで、ドヴォジャークやヤナーチェクなどのチェコの合唱曲と日本の唱歌などを演奏し、コプシヴニツェ、ノヴィー・イチーン、ルハチョヴィツェ、フリーデク・ミーステクなど、北モラヴィアの各地6か所で演奏しました。以後、この地方の各地で演奏会を続けています。第2回は2008年3月、弦楽オーケストラとピアノの出会い。コプシヴニツェ室内弦楽合奏団(KOK)とノヴィー・イチーンの室内合奏団(P. J. Vejvanovského)、イエセニークのジュニア・オーケストラ(Mlázeňnický orchestr ZUZ z Jeseníku)とともにJ.A.ペンダのピアノ協奏曲を演奏し、プシーボルの管弦楽団(Průběžský symfonický orchestr)と「クラコヴィアク」、「ラプソディー・イン・ブルー」などを演奏しました。第3回、2011年3月は、日本とチェコの民俗音楽の出会い。コプシヴニツェの民俗音楽団「プラミンキ Pramíky」(ツィンバロンという民俗楽器を中心にした弦楽と歌のアンサンブル)と共にモラヴィア民謡と日本のわらべ歌や唱歌などを演奏しました。このシリーズは好評で、昨年度2012年3月にプラハと南ボヘミアのスツェで再演となりました。また2012年11月から12月にかけては番外編として、日本人の演奏家により和歌山と東京で室内楽の編成で日本デビュー公演も果たしました。今回はその日本での第2弾。ゲストとしてチェコとスロヴァキアで活躍されているソプラノの日向野 菜生さんをお迎えしました。どうぞお楽しみに！

## 演奏者プロフィール



### スペシャル・ゲスト 日向野 菜生《ソプラノ》

聖徳大学短期大学部声楽科、同専攻科卒業、同大学研究生過程修了。1990年スロヴァキア共和国給費留学生としてブラチスラヴァ芸術大学で声楽の研鑽を積む。卒業演奏としてドヴォジャークの歌劇「ルサルカ」を主役でスロヴァキア国立歌劇場管弦楽団と共演。1995年、「椿姫」を主役でオペラデビュー。以後ヨーロッパの多くのオーケストラと共演。2008年芸術博士号Art Dを獲得。2010年よりチェコ国立クロムニェジーシュ音楽院講師。



### 小杉 翔子《フルート》

桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻卒業。2010年より2年間プラハ音楽院に留学。チェコと日本をテーマにした演奏会を開催するなど、積極的に演奏活動を行っている。



### 木村 郁《チェロ》

和歌山市出身。愛知県立芸術大学器楽科弦楽器専攻卒業、同大学院音楽研究科博士前期過程修了、2010年より2年間プラハ音楽院にて研鑽を積む。プラハを始めチェコ国内、また日本国内各地で演奏活動を行う。現在Samy Music Academy講師。



### 沢 由紀子《ピアノ》

武蔵野音楽大学卒業。旧チェコスロヴァキア政府給費留学生として国立プラハ芸術アカデミーに留学。'04年10月のヤナーチェク生誕150周年記念リサイタルなど、チェコ音楽を中心に活動。'98年、プラハにて「ヤナーチェク・ピアノ作品集」のCDをリリース。現在、聖徳大学講師。



### 渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール (6階)

〒150-0031 東京都渋谷区桜ヶ丘23-21

#### 《交通のご案内》

- 渋谷駅から徒歩5分
- 大和田シャトルバス (ハチ公口～文化総合センター大和田) 直行バス
- ハチ公バス(タヤけ小やけルート) コミュニティバス

※どちらもバス停「渋谷ハチ公口」から乗車、「文化総合センター大和田」下車

公共の交通機関をご利用ください



### アンサンブル・リブシェ

『りんごとさくら』プロジェクトにおいて、プラハで音楽を学んだ3人が出会い、結成。日本とチェコのレパトリーを多く演奏している。リブシェはチェコの伝説の女王。

